

目 次

第1章 端末の概要	1
1-1 端末でできること	1
1-2 端末の種類	2
第2章 端末使用前の準備	5
2-1 電源のオン/オフ	5
1 電源をオンにする	5
2 電源をオフにする	6
2-2 バックライトの点灯/消灯	7
1 バックライトを手動で消灯する	7
2 バックライトを点灯する	7
2-3 スクリーンロック（誤操作防止）について	8
2-4 スクリーンロックを解除する	8
第3章 端末の基本知識	9
3-1 ホーム画面	9
3-2 操作ボタン	10
3-3 よく使用するタッチ操作	11
3-4 タッチ操作の練習1（タップ）	11
3-5 タッチ操作の練習2（フリック）	13
第4章 端末の初期設定の変更	15
4-1 設定変更の必要性	15
4-2 ステータスバーを表示する	16
4-3 自動回転のオン/オフ	17
4-4 GPS機能のオン/オフ	18
4-5 詳細設定の画面を開く	19
4-6 バックライト消灯時間	20
第5章 インターネットを閲覧しよう！	21
5-1 クロームとは	21
5-2 アプリのインストール	21
5-3 ウェブページの閲覧	23
1 クロームを起動する（初回の操作）	23
2 サイトを閲覧する	25
3 お気に入りのサイトを登録する	28

4 ブックマークを利用してサイトを開く.....	29
第6章 Gboard (ジーボード)	31
6-1 本章の概要.....	31
6-2 ジーボードとは.....	31
6-3 ジーボードの初期設定.....	33
1 入力レイアウトの選択.....	33
2 テーマ (キーボードの色や枠線) の選択.....	34
第7章 キー操作による文字入力.....	36
7-1 「シンプルメモ帳」とは.....	36
7-2 シンプルメモ帳の起動.....	37
7-3 入力モードの切り替え.....	39
7-4 ひらがなの入力.....	40
7-5 文字の削除.....	42
7-6 空白の入力.....	43
7-7 カーソルの移動.....	44
1 カーソルを1文字ずつ左右に移動する.....	44
2 カーソルを遠くに移動する.....	45
7-8 漢字の入力.....	46
7-9 句読点の入力.....	48
7-10 音声入力とキー入力の組み合わせ.....	49
1 音声入力を行う.....	49
2 音声入力の一部を修正する.....	50
7-11 アルファベットの入力.....	51
1 単語を入力する.....	51
2 アルファベットの大文字を入力する (1文字のみ)	53
3 アルファベットの大文字を連続で入力する.....	55
7-12 ピリオド・コンマの入力.....	57
7-13 数字の入力.....	58
7-14 絵文字や記号などの入力.....	60
1 絵文字や記号などの入力画面を表示する.....	60
2 絵文字を入力する.....	61
3 記号を入力する.....	63

第1章 端末の概要

本章では、端末（スマホ、タブレット PC）の概要を学びます。

1-1 端末でできること

「スマホ」（スマートフォン）や「タブレット PC」は、一言でいうと「**画面をタッチして操作する小さなパソコン**」です。

最近では、命令を処理するパーツ（CPUなど）が高性能になり、一昔前のパソコンに近い作業を行えるようになりました。

また、ネットの回線も高速になり、いろいろなサービスも利用できるようになりました。



スマホやタブレットで出来ることには、次のようなものがあります。

- カメラ&ビデオ撮影
- 画像編集&再生
- 音楽を聴く
- 動画を視る
- カーナビ&徒歩ナビ
- スケジュール帳
- 名刺管理
- ネット閲覧
- メールの送受信
- 電子書籍購読
- 電子辞書
- 翻訳
- ラジオ
- ゲーム
- メモ帳
- 万歩計
- ネット上で人と人のつながりを楽しむ（フェイスブック、インスタグラムなど）
- データをネット上で管理する（ドロップボックス Dropbox、エバーノート Evernoteなど）

上記の他にもいろいろな活用法があります。

まずは本書で基本的な操作を身につけて、自分にあった活用法を見つけていきましょう！



1-2 端末の種類

スマホやタブレットは、主に「Android」系と「iOS」系の2種類があります。下表は違いをまとめたものです。

	Android 系	iOS 系
端末の土台となるプログラム (OS) の名前は？	Android (アンドロイド)	iOS (アイオーエス)
上記のプログラム (OS) の開発元は？	Google (グーグル) 社	Apple (アップル) 社
端末を販売しているのは？	各社	Apple (アップル) 社
商品名の例	ピクセル (Google) エクスperia (ソニー) ギャラクシー (サムスン) ゼンフォン (エイスース) アローズ (富士通) 他多数	iPad (アイパッド) iPad mini (アイパッドミニ) iPhone (アイフォン)
主な長所	各社から販売されているので、機能や価格帯のラインナップが幅広く、自分にあった端末を選べる。	一社のみなので操作が同じ

機能面での差は、ほとんどなく、どちらも同じようなことができます。

本書では、Android (アンドロイド) 系の端末の操作を学習します。

(Android 系の端末は機種によって操作が少し異なります。本書では、異なる箇所については、例をいくつか挙げながら補足していきます。)

【参考】「スマホ」と「タブレット」の違い

「スマホ」と「タブレット」の違いを説明します。

「スマホ」は、画面の大きさが4～6インチで、片手で持てるサイズです。外で頻繁に取り出して使うのに適しています。



「タブレット」は、画面の大きさが7～10インチ程度です。通常は自宅や会社などの屋内で使われることが多いでしょう。



【参考】通信する方法について

端末の通信方法について、簡単に説明します。（読み飛ばしても結構です）

「スマホ」や「タブレット」が通信を行う方法は、大きく分けて、「**Wi-Fi**」と「**SIM カード**」の2つの方法があります。



「**Wi-Fi**」(ワイファイ)は、無線接続の規格です。
自宅に Wi-Fi の親機が設置されていれば、そこに無線で接続して通信します。
(お店や駅などに親機が設置されていて、接続できる場合もあります)

「**SIM (シム) カード**」は、通信会社と契約して、電話やネット通信をするための端末に差し込む小さなカードです。

外でも通信できる、というのが大きな長所です。

最近は、格安 SIM と呼ばれる月額 1,000 円以下の通信費で利用できるものも増えています。



Wi-Fi での通信は、「スマホ」も「タブレット」もできます。

SIM カードのほうは、「タブレット」は、一部対応していない端末があります。

「タブレット」は、端末が大きいので屋内のみで使うことが多く、「SIM カード」が不要なケースがあるためです。



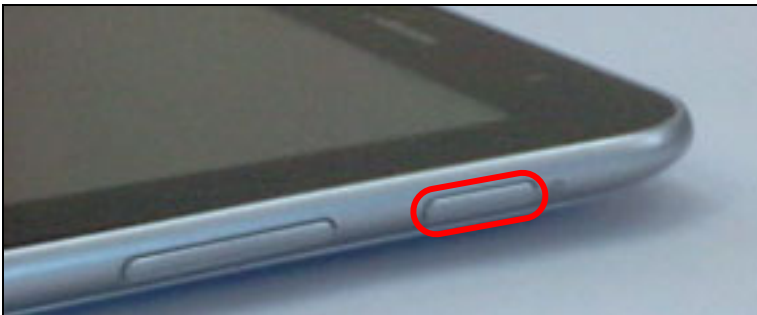
第2章 端末使用前の準備

本章では、端末の初期設定や電源の入れ方などを確認します。

2-1 電源のオン/オフ

タブレットやスマートフォンは、普段は電源を入れたままの状態使います。まずは、基本知識として、電源のオン・オフの手順を確認しましょう。

1 電源をオンにする



① [電源] ボタンを長押しします。

※ 電源ボタンの位置は機種によって異なります。



② しばらく待つと電源がオンになります。

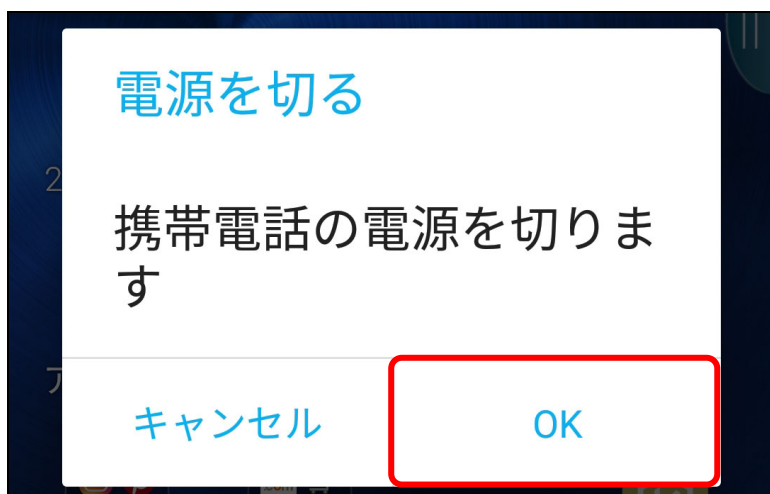
※ 表示される内容は機種によって異なります。

2 電源をオフにする

- ① [電源] ボタンを長押しします。



- ② [電源を切る] を押します。



- ③ [OK] を押します。
これで電源がオフになります。

※ 機種によっては、本操作は不要です。

● 次項の準備をする

- ① 次の手順のために、電源をオンにしましょう。

2-2 バックライトの点灯/消灯

バッテリーの消耗を防ぐために、端末を使わないときには「バックライト」（背面から液晶を照明する装置）を消灯して画面を消します。

バックライトは、一定時間操作しないと自動的に消灯しますが、本項では手動での点灯・消灯の手順をそれぞれ確認します。

1 バックライトを手動で消灯する

- ① 画面が表示されている状態で、[電源] ボタンを短押しします。
- ② バックライトが消灯して画面が消えます。



2 バックライトを点灯する

- ① 画面が消えている状態で、[電源] ボタンを短押しします。
- ② バックライトが点灯して画面が表示されます。

【参考】 画面が固まって動かなくなったら

タブレットやスマートフォンは、ごくまれに、画面が突然固まって、一切の操作を受け付けなくなることがあります。

その場合は [電源] を長押しして、一旦、電源をオフにし、しばらくしてから電源をオンにすると、ほとんどの場合は回復します。

